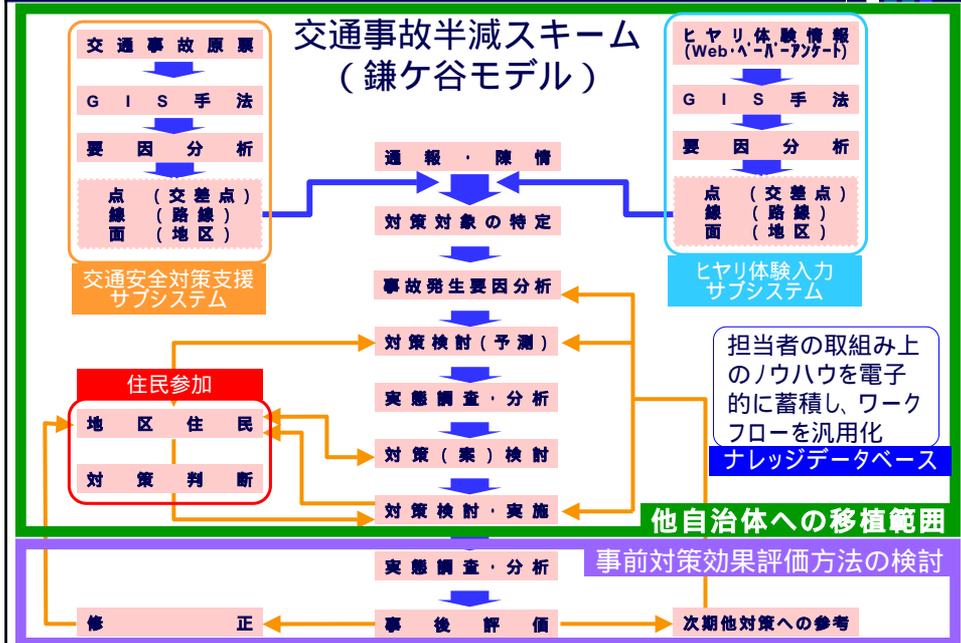


研究の枠組み

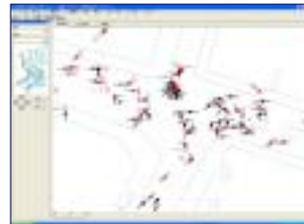


交通事故半減スキームの隣接自治体への移植！

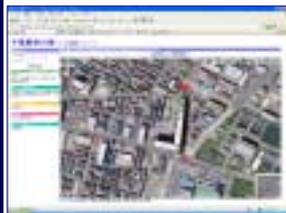
鎌ヶ谷市に比べ都市規模が4倍の市川市、1/2の白井市へサブシステムの移植とDBの構築、運用を開始
交通安全対策支援サブシステム

- ・電子地図データの階層化、索引図の活用によりレスポンスの改善
- ・データベース作成方法の改良

事故電子データの一括取り込み機能を追加
他電子地図の道路属性データを利用した、交差点、街路マスターの一括登録機能の追加
事故データとマスターデータのマッチングによるヘルスチェック機能の追加



ヒヤリ体験入力サブシステム



API形式の地図ASPを活用したシステムへ移行

導入する自治体のセキュリティレベルや特定OSに依存せず、かつWebGISサービスのネットワーク提供と電子地図データのネットワーク配信が一体化したシステムへ改良

教育プログラム(ナレッジDB)

- 業務実施上のノウハウを電子的に蓄積しワークフローを汎用化



作業ワークフロー

作業内容

様式・事例・マニュアル集

各利用者が作業ワークフローを基点として、ハイパーリンクを辿って目的の情報を獲得することができる。

市川市では...

- 対策対象地区として、南大野地区を選定
- 教育プログラムを参考とし、市の担当職員がヒヤリ体験アンケートとワークショップを実施

市川市の担当職員



南大野地区の住民

- 住民は分析結果に強い関心
- 住民との積極的な意見交換

対策効果の事前評価サブシステム

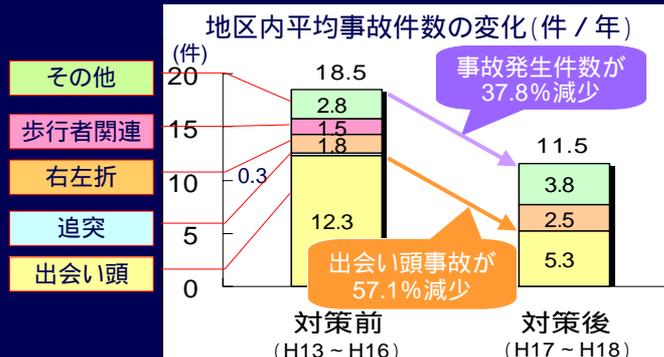
交差点ハンプ(凸型交差点)

- 鎌ヶ谷市での交差点ハンプ等による速度抑制対策の事後評価例

速度抑制対策に関する客観的評価の結果、速度抑制の効果を確認



- 事故発生件数の事前・事後比較による評価の重み付け



このような事後評価結果を、事前評価サブシステムに蓄積していく。